

# おつき・ふくしの花だより

第13号

平成28年9月1日

【発行】

大月地区社会福祉協議会

会長 小宮 文男

**目次** 表紙・P2 ▶いきいきサロン情報連絡会 P2 ▶H27事業・決算報告／H28予算と計画  
P3 ▶連載・おつきリレー放談 P4 ▶大つき地域の活動紹介

ひまわり会（御太刀）



サロンさわい（沢井）



秋桜の会（下花咲）



サロン駒（駒橋）



いきいきサロン富士見台（富士見台）



## いきいきサロン情報連絡会

を開催しました！

連絡会にて抽出された主な課題



サロンは、仲間づくり、居場所づくり、地域づくり、そして何より参加することで自分自身の健康のためになるなど様々な効果があります。

「長く継続できる活動とするため」「更に充実した活動とするため」これら連絡会で抽出された課題を“どう克服すべきか？”みんなで考えましょう！ご意見をお待ちしています。

（連絡先）23-2001 大月市社会福祉協議会 担当 薦木



### ●熊本地震義援金の報告

4月23日（土）に行われた大月地区社会福祉協議会第1回役員会において、熊本地震への義援金箱を回ささせていただきました。多くの役員の皆様にご協力いただき、17,000円が集まりました。義援金は、中央共同募金会を通じ、各被災地へ送らせていただきました。ご協力ありがとうございました。

# いきいきサロン情報連絡会（報告）

平成28年度ふれあい・いきいきサロン情報連絡会を、5月28日（土）の午後1時30分から午後3時30分まで、大月市総合福祉センター6階多目的ホールにて実施いたしました。

この連絡会は、初めての試みであり、各地域で活発に開催されている「ふれあい・いきいきサロン」が、これからの少子高齢・人口減社会の時代において、益々、重要度が高まるものと考え、今回「ふれあい・いきいきサロン」の未設置地区解消、課題解消を目的とした情報連絡会を開催しました。

連絡会では、5ヶ所のサロン（表紙参照）から、それぞれの現状と課題についての発表があり、そのことについての意見交換などが行なわれました。大きな課題については、今後解決に向けて取り組んでいけるよう、継続的な情報交換等を実施していきます。



## 平成27年度 大月地区社会福祉協議会 事業報告と収支決算について

### ●決算報告

【収入】	科目	金額
	会費	671,500
	共同募金	1,275,974
	バザー配分金	29,900
	助成金	100,000
	雑収入	51
	繰越金	45,568
	合計	2,122,993

### 【支出】

科目	金額
事務費	20,855
事業費	102,908
納付金	1,747,474
配分金	200,000
雑費	432
合計	2,071,669

●収入総額 2,122,993 円

●支出総額 2,071,669 円

差引残額の51,324円が翌年度に繰り越されます。

### ●事業報告

- 研修会（1回）～福祉（防災）マップづくりから考える
- 広報発行（年3回）第8号（7月）第9号（12月）第10号（3月）
- 共同募金運動（県事業 / モデル地区として）・・・大月東小6年生との植栽活動
- 理事会（年5回） / 役員会（年3回）
- 市社協事業への協力（ツキフェス・地域福祉推進大会・ふれあい福祉バザー等）

## 平成28年度 大月地区社会福祉協議会 事業計画と収支予算について

### ●収支予算

【収入】	科目	金額
	会費	805,800
	共同募金	1,300,000
	バザー配分金	29,900
	助成金	100,000
	繰越金	51,324
	合計	2,287,024



### 【支出】

科目	金額
事務費	34,500
会議費	10,000
通信運搬費	6,500
消耗品費	15,000
使用料	3,000
事業費	270,000
福祉推進費	160,000
研修費	20,000
広報費	90,000
納付金	1,771,500
配分金（共同募金）	200,000
雑費	11,024
合計	2,287,024

### ●事業計画

#### ◎重点計画

- 地区社協研修会の開催
- ボランティアの育成、組織の確立
- ふれあい・いきいきサロンの推進
- 見守り活動への取り組み ● 広報紙の発行

# 連載 おあつきりレー放談 第5回

「マンパワー “コミュ” に育てられて・・・」

佐藤 尚美



まず、前置き。タイトルにしました“コミュ”はと言いますと、ご想像も付くかと思いますが、『コミュニティ』の略用語です。実はこの言葉を使用するにあたり、安易な気持ちでしたが、辞書検索しましたところ、私の日常使用の感覚より、かなり多様な定義を持っておりましたので、コミュ！と略語で表現し、柔軟な解釈をして頂けましたら、幸いです。

余談ですが・・・【コミュニティ】

★一般語として、権利・思想と言うハードな面から始まり、趣味などまでの広い解釈での「共有、一致」。「社会的交わり」といった状態をさす一方で、このような状態の人々の集まりを意味する。さらに、自然発生的な「一地方・一地方の人々」「一定地域で行動を一とする共同体！」「ある地域で特性のある営みのある集まり（動植物まで言及）」

★外来語としては、小学校区的規模の市民連帯性と必要関連施設。etc…

などと、定義は想定以上に多様でしたので、付け加えましたが、私は【社会的な交わり】の意の範疇で使わせて頂きます。

さて、言葉の検索はさておきまして、私はといいますと、隣市よりこの街に嫁いで参りました。もちろんこの街にある程度の土地感もありましたし、知人も少ないながらもおりといった状況でしたから、アウェイ感（よそ者）が無いように思えますが、やはり嫁ぐと言うのは、新しいコミュニティへの参入（少々大げさですが…苦笑）は、難儀でした。主婦となると、それまでかかわってきました社会生活が、いったんは、真っさらになり、新たな場所での一地域（町）・地域の集まり（常会）に限定される日常になりました。一地域の一面的な関わりで、主婦なら一度は感じる単調な毎日が続きます。その後、家族（子）が増え、誰もが体験なさったことでしょうか～一面的であった関わりが子供を通して、層が厚くなりました。町内会から小学校区、そして中高等学校区と地域が広がっていきます。同じ学年の子供を持つ親としてのコミュニティは、私の生活に、学びと彩りを与えてくれました。いまのような情報社会では、SNSなどでつながるコミュニティもあるかと思いますが・・・私はアナログ的ではありますが、新たなつながりを、子供のコミュニティを通して広げることが出来、有意義だったと思います。それから、二人の子育てがほぼ終了となり・・・「これからの私の社会的交わりはどうなるのだろうか??？」と、考えるようになりました。が、ふと気が付くと、物理的な（町内）からスタートしたコミュが、自然環境的に子供を介したコミュに、そして、今は自らの好奇心や趣味を媒体とした積極的なコミュが、私を育ててくれていることを、実感する毎日がすでに動いておりました。

趣味の世界と少しお気楽なコミュニティでも、経済・社会的活動にも何らかの形で、ほぼ女性もかかわる今！何物にもとらわれず、ただ花が好き、お茶が好き・歌が好き・・・など、様々な趣味の世界で、老若男女が同じ趣向をもって、過ごす時間は、何より明日への活力になっているように実感がもてます。そして、さらにです。そこに集う人たちの素敵な人生観を、趣味に興ずる一緒の時間において、ストレートに享受出来、さらに学び、自分では成し得ない感動も頂けていることを、ことに感じ、たかが趣味の会であっても、メンバーの方々に感謝の気持ちでいっぱいになります。

知らず知らずのうちに、私の面だったコミュが層を増し、縦横に伸び、立体的になって行く！これはまさしく『マンパワー “コミュ”』です。自分で学んだつもりでいたことは、実は人に教えて頂き、コミュに育てられていたと、思えるようになってきました。「コミュニティ参加」というと、何か義務・義理・・・奉仕などと、堅苦しい一面ばかりで、一歩踏み出せないようでも、趣味の会なども立派なコミュニティだと思います。いつからでも、どこにいても、自分自身次第です。自分の拠り所になる『コミュ』が一つでもあると、人生が豊かになるのだと確信できるようになって参りました。

最後に、私は幸運なことに少しずつ、自分の拠り所になるコミュを見つけることが出来ました。大月というのは、少し足を延ばせば、魅惑的な都会が近接していて、『この小さな田舎町では？何も無い』とあきらめずに、ご自分なりのコミュを、この町で見つけてみて下さい。最近、多方面の先輩方が、そんな活動に奔走して下さっています。きっとコミュが明日を変えると信じています。



**○次回予告！佐藤さんからのご指名により矢羽正子さんを予定しております。ご期待ください！**

御太刀地区では、6つの自治会ごとに

**「福祉・防災マップづくり」**などの取り組みを実施しています！

御太刀地区では、大月地区全体で取り組んでいる「福祉・防災マップ」づくりの研修を生かし、各自治会単位で福祉と防災に関する取り組みを行っています。

「福祉・防災マップ」づくりは、多くの住民参加のもと、より小地域（組単位）での話し合いにより、日頃からの近所づきあいや災害時における避難・声掛けの仕組みなどの検討・確認をしています。また、近年以前より防災に取り組んでいる自治会もあり、それぞれの地域性を重要視した取り組みとして進めています。

福祉と防災は、密接な関係にあります。このような一つの取り組みから、「日常の困りごとの早期発見（孤立防止）」と「災害時に要援護者を一人も見逃さないことが出来るようにする」という二つの地域づくりを目指しています。

## ●発展させた取り組み

～「福祉・防災マップづくり」と連携させ実施している防災訓練



▲消火訓練（子どもから高齢者まで参加）



▲起震車体験の様子（震度7の体験中）

## 編集後記

7月発行の予定が、諸般の事情によりまして今日になったこととお詫びいたします。さて、大月市社会福祉協議会で、計画実施されている「平成28年度おおつき地域のお助け隊＝大月市介護予防サポーター養成講座」をご紹介します。

本講座の趣旨は、地域住民同士の支えあい、高齢者の健康寿命の確保ということが必要とされている、そこで市民がそれぞれの立場から、支えあい助け合う際の、サポートができるような人材育成の講習会であるとのことから、参加させていただいております。

大月地区社会福祉協議会の会員は、36名受講者中7名の方が参加して下さっております。

お助け隊の活動項目として考えられていることは、次のようなことであるをご紹介します。

- ・いきいきサロン、コミュニティカフェのお手伝い等
- ・地域における高齢者の困りごと（例、電球交換、ゴミだし、庭の草取り等）
- ・大月市介護予防事業への送迎サポート（社協所有の車両を使用）等々

全10回の講義を受講して、お助け隊登録となります。

多くの方が、ボランティア活動をなされているかと思われませんが、このような講座も開催されていること、また今後も開催していくことがあるとのことから、ご紹介させていただき編集後記とさせていただきます。今期の活動へのご協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。（文責、副会長・小俣公司）